



尾山台小だより

8・9月号

学校教育目標【明るい子 考える子 たくましい子】

～確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童の育成～



〔尾山台小ホームページ〕<http://www.city.ageo.lg.jp/site/oyamadai-elementaryschool/>
または、「上尾市」ホームページ→「上尾市立幼小中学校」→「尾山台小学校」をクリック

2学期も「笑顔」と「わくわく」で楽しもう！

校長 熊坂 由美子

空に浮かぶ雲を見たり、朝晩の心地よい風に当たったりすると、秋に向かって季節が動いていることを感じます。保護者の皆様、地域の皆様、この夏はいかがお過ごしでしたでしょうか。コロナ感染症の収束が見えないまま、子供たちも、多少なりとも我慢を強いられた夏休みとなったのではないかと推察いたします。1学期の終業式では、例えコロナ禍であったとしても、夏休み中も、1学期ずっと続けてきた「笑顔」と「あいさつ」を忘れず過ごしてほしいこと、何か1つでいいので「わくわくすること」に挑戦してほしいこと、この2つを話しました。

「笑い」には、免疫力を高め、心身を良好にする効果があると医学的観点から言われています。作り笑いでも、脳が錯覚を起こし、体に良いそうです。ご家庭でも一日一回は「笑顔」を作ることを試みてください。また「わくわくすること」も、大事ですね。「好奇心」がある子供の方が、集中力や学習への意欲が高いとの統計もあります。大人にとっても、健康寿命を長くする効果があるようです。好奇心を高めるには、「面白そう！」を口癖に、できそうな目標を少しずつクリアしてやる気を上げていくなどが効果的だそうです。

本校では、今年度より、子供たち一人一人に合った学習支援についての研究に取り組んでいます。一斉指導による教育的効果も大切にしながら、効果的に個別指導を取り入れ、どの子も「分かった！」「できた！」「面白い！」と感ずることができる授業作りを目指しています。その取組の一環として、1学期に5年生で2教科同時進行「自由進度学習」を実践しました。算数科と社会科の2教科の授業計画表を子供に配付し、予定された時間内に自分で立てた計画に沿って2教科を学習していきます。算数を全部終わってから社会をやっても良いし、交互に取り組んでも良い。2教科両方とも学習内容を終え、チェックテストをクリアすれば、発展学習に取り組めるというものです。発展学習は子供たちの好奇心をくすぐるものを教師が準備しておきます。学習後の感想では、5年生の9割以上の子供が「楽しかった！またやりたい」と回答しました。意欲だけでなく学力面での平均値も上がりました。準備は大変でしたが、子供たちの笑顔を見て、取り組んでよかったなあと感じています。

今後、2学期から3学期にかけて、あじさい学級も含む全ての学級で実践する予定です。今年の夏休み、尾山台小教職員は新学期の準備と共に、この「自由進度学習」の準備も頑張りました。子供たちがどうすれば目を輝かして反応するかな、どんなプラスの変容があるかな、と想像しながら授業創りをしていくのは、教師の楽しみであり、笑顔の元であります。

今日から始まる2学期。運動会や音楽会、尾山台まつりや1000m走記録会など、楽しい行事が様々あります。できる限り保護者様への公開もしながら、「笑顔あふれる尾山台小」を目指し、職員一同取り組んでまいります。2学期もよろしくお願いいたします。